

おみくじ

そのおみくじ、ラッキー？アンラッキー？

だいきち	>	ちゅうきち	>	しょうきち	>	きち	>	すえきち	>	きょう	>	だいきょう
大吉		中吉		小吉		吉		末吉		凶		大凶
												

おみくじに書かれている“縁起”は、神社やお寺によって、5段階、7段階、12段階など違います。一般的には7段階のおみくじが多いようです。

おみくじにはどんなことが書いてあるの？

浅 草 寺 観 音 籤	
第 九 大 吉	
有名須得遇 思い通りに夢が叶い、名も世間に知れ渡るでしょう。	願望：叶うでしょう。
三望一朝遷 三つの望みがそのままそっくり叶うように、すべてが一度に叶えられることでしょう。	病気：治るでしょう。
貴人來指處 自分よりも身分の上の人から、いろいろな喜び事を与えてくれるでしょう。	失物：見つかるでしょう。
華菓應時鮮 四季折々に花が開き、実がなるように日々の努力が実り、幸運が開けるでしょう。	待ち人：現れるでしょう。
	新築・引越：良いでしょう。
	縁談・付き合い：全て良いでしょう。
	旅行：問題ないでしょう。

おみくじが昔の日本語で書いてあって読むのが難しい場合は、裏に今の日本語で同じ内容が書いてあることが多いです。最近は、英語やハングルのおみくじもあるそうです。

おみくじはどうやって引くの？

おみくじは、神社やお寺によって、引き方が違います。主に、次の3つの方法があります。

1. おみくじの入っている箱から直接引くもの
2. おみくじ箱を振って数字の書いてある木の棒を引き出し、その番号のおみくじをもらうもの
3. おみくじの自動販売機にお金を入れると、自動的におみくじが出てくるもの



浅草・浅草寺のおみくじ



鎌倉・鶴岡八幡宮のおみくじ自動販売機

引いたおみくじはどうするの？

引いたあとのおみくじは、良いおみくじは持ち帰り、悪いお

みくじは神社やお寺に結んでいくといわれています。

もちろん、悪いおみくじであっても自分の教訓にするために

持ち帰ってもいいですし、良いおみくじであっても神社やお

寺と“縁を結ぶ”ために結んでいてもいいです。神社やお寺

に結ぶときは、境内の木に勝手に結ぶと植物を傷めますので、

決められた場所に結ぶようにしましょう。



大阪・露天神社（お初天神）のおみくじを結ぶ場所